

歴史まちづくり活動 概要シート

情報提供内容	<input type="checkbox"/> 活動グループ紹介(組織紹介) <input type="checkbox"/> 活動紹介(具体的な活動事例紹介)		
カテゴリー (複数チェック可)	<input checked="" type="checkbox"/> 建物単体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域・まちなみ <input type="checkbox"/> 調査・研究 <input type="checkbox"/> 保存・利活用 <input type="checkbox"/> 活動・イベント <input type="checkbox"/> 災害復旧 <input type="checkbox"/> その他		
キーワード			
ブロック名	建築士会名	支部(地域会)名	
	公益社団法人岐阜県建築士会		
グループ概要			
活動団体名	まちづくり委員会 研修会は歴史まちづくり部会企画	連絡先住所	岐阜県揖斐郡大野町稲富 2334-1
代表者名	委員長 加藤達雄	TEL	090-8958-4397
シート作成者	福田 勝好	E-mail	kfukuda@8745.com
活動開始年	2018年8月	URL	
備考	(活動協働団体等記入)		
活動名称	(活動グループ紹介(組織紹介) の場合は見出しを「活動人数」に修正して記入)		
<p>岐阜県建築士会。まちづくり委員会、歴史まちづくり部会の最近の活動について。</p> <p>活動の概要</p> <p>① 旧岐阜県庁舎について(RC3F 建)</p> <p>大正期、最先端の技術で地元産の希少な大理石を使用した建造物。設計は矢橋賢吉氏(現国会堂の設計者でもある)正面階段踊り場には当時の公共建築としては最初といわれるモザイクタイルが使われている。県庁の移転後、合同庁舎として使われ、本庁舎への移転後建物の正面棟を残し解体撤去、現在は耐震の関係で封鎖中。</p> <p>岐阜市司町 旧岐阜県庁保存活用(協議会)について。</p> <p>2018. 8 建築士会歴史まちづくり部会中心に旧県庁舎保存・活用部会の設立検討。(20名)</p> <p>2019・5 同 上 準備委員会の設立</p> <p>2019・9 準備委員会 会長に元岐阜県美術館長 古川秀昭氏を選任。</p> <p>2020・3 岐阜地域貢献活動センターに助成申請する。</p> <p>2020・4 同 上 助成認定される。</p> <p>2020・11 岐阜市立女子短期大学生とのワークショップを実施。</p> <p>2021・1 同 上の学生に加え岐阜高専の学生によるワークショップを実施。</p> <p>2021・7 地元自治会連合会との協議会開催。</p> <p>2021・12 閉鎖中の庁舎、再度見分。(協議会メンバー・大学教授・大理石メーカー役員。県議他) 地元. 新聞2社に掲載。 以後 月1度協議会開催を実施。</p> <p>② 旧いとう旅館(木造2階建)</p> <p>長良川沿いに建つ70年余の歴史のある旅館、女将の高齢化により後継者もなく2014年、岐阜市の歴史あるまちづくりに活かして欲しいとの女将の遺言に遺族が遺志をくみ取り、市は活用を検討各界から検討委員会を組織、建築士会の一メンバーに加わり協議、プロポーザルによる見学会などを経て保存・活用方向に至った</p> <p>③ 岐阜県ヘリテージマネージャー 令和4年度事業(歴史まちづくり部会企画)</p> <p>令和4年度文化庁補助事業として令和4年5月第1回研修会～令和5年3月の間68時間のカリキュラムを計画、各講座の講師も決定。受講者33名でスタート</p>			
地域貢献度	★★★★☆	活動を通じた課題や展望	
建築士会関係度	★★★★★		

